

通級指導教室利用の子供を支援する教材作成とサイト開設

e5228 中澤ひかり

(指導教員：鶴川 義弘)

1. はじめに

平成24年に文部科学省により実施された「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育支援を必要とする児童生徒に関する調査」において、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒の割合は**6.5%だ**。更にカウントされていないグレーゾーンの存在も含めると、学校による個人への支援が追いついていない現状が考えられた。また近年、ICTの有効性が注目され、PCの他にも、iPadや電子黒板等を授業に取り入れる学校が増えてきている。そこで私は、普通学校に通う軽度発達障害児童・生徒に向け、iPadやPCを用いた教育活動の支援がしたいと考えた。

また私は、3年次の研究においてPowerPoint教材作成やサイト開設を行ってきたため、今回のテーマにおいてもそこで得た技術を活かしていきたいと考えた。

2. 研究の目的

本研究では、通級指導教室を利用する児童・生徒を支援するための教材・サイトを作成することを目的としている。通級指導教室とは、通常の学級に在籍する比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室である。

3. 研究の方法

通級指導教室のある仙台市内の小中学校、各1校に協力を仰ぎ、子供たちのサポートをする中で児童・生徒や担当の先生のニーズを把握する。知り得た実態をもとに、教材を作り、それらを紹介するサイトを作ることでニーズに応え、支援へと繋げる。更に、それらを用いて通級指導教室における授業実践をしたいと考えている。以下はこれまでにやってきた、通級指導教でのサポート活動(表1)だ。

サポート日	学校
2月10日(水)	G中学校
2月16日(火)	H小学校
2月23日(火)	H小学校
3月4日(金)	H小学校
5月11日(水)	G中学校

表1 通級指導教室でのサポート活動

4. 調査できたこと

仙台市では通級を持つ学校は11校しかないため、学校外からの子供も受け入れていることがある。また、個別の指導を行っており、1人当たりにつけられる時間は週に1~2時間ほどしか持てない。これらのことから、個別支援を更に充実させるため、通級指導教室の他にも、家庭で自主的に学習できるようにしたいと考えた。

5. 教材の開発環境

教材の開発環境には主にPowerPointとGoogleスライドを用いている。



図1 PowerPoint 図2 Google スライド

PowerPointは多くの人に馴染みがあるため、教材を児童・生徒に合わせてアレンジすることも容易だと考えられる。また、教材を一度ダウンロードしてしまえば、ネット環境がなくても学習が可能だ。しかし、教材を開くには専用ソフトが必要だというデメリットがある。

Googleスライドは、使い方自体はPowerPointとほぼ同様だが、教材を開く際、専用ソフトが不要な代わりにネット環境が必要だ。

これらはいずれもハイパーリンク機能を使い、選択式で

ーム型教材を作ることができる。

6. 作成した教材

図3はG中学校で行われている学習を参考に、PowerPointで作成したソーシャル・スキルトレーニングの教材である。スライドショーを開始し、問の選択肢の一つをクリックすると正解か不正解かが表示され、不正解の場合、“もう一回”ボタンを押すと問題文に戻り、再挑戦できる。正解すると“次へ”ボタンが押せ、次の問に進むことができる。また、Googleスライド版も同様に作成し、利用される方の環境に合わせて使って頂けるようにしている。

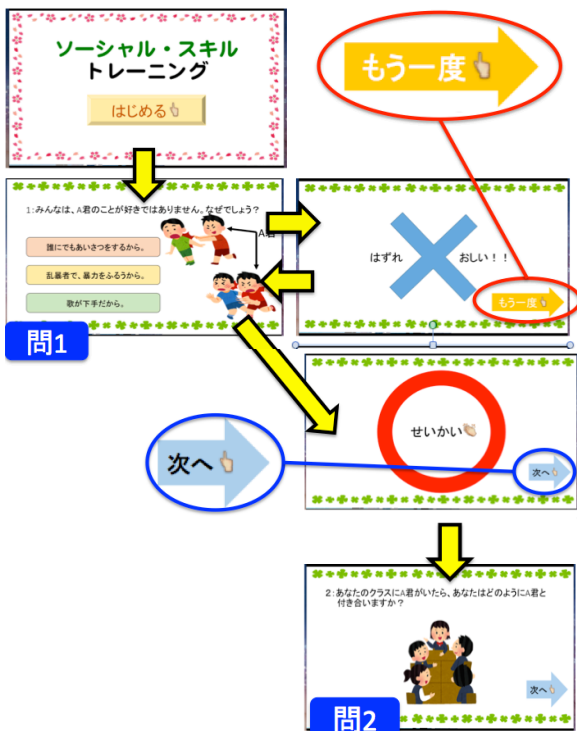


図3 ソーシャル・スキル トレーニング教材

7. 情報サイト開設の使用サービス

以下の点から使用サービスには Google サイト(図4)を用いた。

- ・無料で使える
- ・共有(共同作成)の設定ができる
- ・操作が簡単(HTML等の知識が不要)



図4 Google サイト

8. 作成中の情報サイト

図5が現在作成中の通級指導教室利用の子供たちを支援するための情報サイトである。工夫点として、子供の支援のアプローチを様々な角度から行えるよう、子供たち、先生、保護者に向け、別々のページを計6つ作った。また、子供に楽しく取り組んでもらうため、イラスト等を多くした。リンクを貼った関連のあるサイトに関しては、それぞれの概要と共にページのスクリーンショットを載せることでわかりやすくしている。図3で示した教材は、PowerPoint版、Googleスライド版から選んで使えるようにしている。また、子供たちが教材を選びやすいよう、概要も載せている。(図5)



図5 教材の使い方

9. 今後の展望

これまでと同様、協力校でのサポート・調査を続け、ニーズに応えた教材作成と情報サイトの充実化を図る。以下(表2)は確定している今後の日程である。

サポート日	学校
5月19日(木)	H小学校
5月26日(木)	G中学校
6月2日(木)	H小学校

表2 今後の活動

また、仙台市内の学校からアクセスできるページが限られているという問題を抱えているため、対応策を考えていく。

